学校番号	１２０１

令和 ５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英文法Ⅱ	2	第３学年	「New vision Quest English grammar 24」啓林館

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の英文法Ⅰで扱った英語の文法事項を復習・発展させながら、新しい文法事項を学習する。既習の（英語という言語についての）知識を使って自分の意志・メッセージや情報をまとめたり、相手に伝えたりする練習を行う。語順や語法を中心に扱い、音読や暗誦、英作文などを通して、英語という言語の理解を深め、英語で表現できる方法と内容を増やす。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
母語話者にも理解してもらえるように英単語を適切に発音することができる。 決まった日常の挨拶や季節の挨拶のやりとりをすることができる。	･音読､暗唱 ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞﾃｽﾄ	基本的な語句や表現､文法事項などの知識を活用して簡単な英文（１文）を書くことができる。 自分についての基本的な情報（名前、誕生日、年齢など）を書くことができる。	･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ ･定期考査	ゆっくりはっきりと発音されれば､身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 アルファベットが発音されるのを聞いて、どの文字か聞き取ることができる。	･ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ ･定期考査	各レッスンにおける例文の意味を考えさせ､それを声に出して正確に音読できる。	･音読ﾃｽﾄ ･定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
(20 時間)	不定詞 動名詞 分詞 助動詞 関係詞 比較 仮定法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		助動詞の学習を通して、他者への依頼や命令する場合の表現について考え、言語外の社会的な要素などを踏まえて助動詞を使って質問することができる。	・リスニングや例文を通して、学習予定の文法項目に注意を向ける。 ・学習した文法事項を参考にしながら、自分の身に最近起こったことについてペアで伝え合う。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		文の強勢の基本を学び、内容語を強く読み、機能語を弱く読む練習を通して、強弱のリズムをつけて発話できる。	・演習問題の英作文に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問に簡単な英語で答えるなどのインタラクションを行う。	演習問題で一定の正解率を達成している。また、外国語で読んだり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		学んだ項目の知識を活用して不定詞の用法をを判別したり、関係詞が現れる文を理解し、質問などに答えて理解を示すことができる。	・演習問題に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問を理解する	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞それぞれの意味や用法を学び、適切に使い分けて話者の気持ちや判断を表すことができる	・不定詞、動名詞、分詞、助動詞、関係詞、仮定法の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
(20 時間)	否定文 無生物主語 名詞構文 話法 接続詞 前置詞 倒置 省略 挿入 同格	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		疑問・否定の学習をベースに、倒置・省略・挿入などを駆使して、自分の興味・関心があることについて伝えたり、尋ねたりすることができる。	・リスニングや例文を通して、学習予定の文法項目に注意を向ける。 ・学習した文法事項を参考にしながら、趣味や映画の好みなどについて疑問文を作り、ペアで伝え合う。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		主に短母音の発音を学び、似た発音の語を区別して聞き取れる。また、その語を含む文を理解可能な発音で発話できる。	・演習問題の英作文に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問に簡単な英語で答えるなどのインタラクションを行う。	演習問題で一定の正解率を達成している。また、外国語で読んだり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		倒置・省略・挿入など、特定の目的のために文を変形することができる。	・演習問題に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問を理解する	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		基本時制をイメージとして把握し、尋ねたいこと・	疑問詞・疑問文、否定文、強調、倒置、省略、挿入の	外国語の学習を通して、言語やその運用についての	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆

		伝えたいことを適切な疑問詞・疑問文で尋ねることができる。	意味や用法を確認する。	知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
（10 時間）	冠詞 代名詞 前置詞 名詞的用法 形容詞的用法 副詞的用法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		様々な名詞的・形容詞的・副詞的な表現を学び、自分の興味関心があることについて、より詳しく伝えることができる。	・リスニングや例文を通して、学習予定の文法項目に注意を向ける。 ・前置詞をイメージで捉え る。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		主に二重母音の発音を学び、似た発音の語を区別して聞き取れる。また、その語を含む文を正しい発音で発話できる。	・演習問題の英作文に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問に簡単な英語で答えるなどのインタラクションを行う。	演習問題で一定の正解率を達成している。また、外国語で読んだり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		冠詞と代名詞の理解を通して、既知と未知の情報を区別し、新しい情報が文末にくつなどの英語の言語特質を理解し、発話や表現に活かすことができる。	・演習問題に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問を理解する	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		前置詞をｲﾒｰｼﾞでとらえ、英語話者の感覚を想像し、その用法とともに使われる語句を理解し、適切に文を作ることができる。	現在・過去・未来完了形の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
（10 時間）	自動詞・他動詞 接続詞 句動詞 さまざまな構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		さまざまな構文の学習を通して、より幅広く自分の興味関心があることについて相手に伝えたり、聞いたりできる。	・リスニングや例文を通して、学習予定の文法項目に注意を向ける。 ・句、節、文という単位を意識し、接続詞について学ぶ。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		子音の有声音と無声音を学び、似た発音の語を区別して聞き取れるようになる。また、似た発音の語を含む文を正しい発音で発話できる。	・演習問題の英作文に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問に簡単な英語で答えるなどのインタラクションを行う。	演習問題で一定の正解率を上げる。また、外国語で読んだり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		頻出表現を学び、丁寧に相手に許可を求めたり依頼したりすることができる。それに対し、肯定・否定どちらでも答えられる。	・演習問題に取り組む。 ・演習問題のリスニングの問題に取り組み、口頭での簡単な英問を理解する。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		自動詞と他動詞の使い分けができる。さまざまな構文のおおまかな意味がとれ、質問などに答えることで理解を示すことができる。	・自動詞・他動詞、接続詞、句動詞やさまざまな構文の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。